

# 無色透明ヨウ素系消毒剤

ヨドックス

# Iodox®

抗菌 抗ウイルス 消臭 抗カビ

内容成分：ヨウ素化合物、植物由来成分、液性調整剤



## Iodox® ?

さまざまな分野で広く使われているヨウ素の確かな抗菌力を、ヨウ素系消毒剤の特有の色やにおいを改善し手軽にどこでも使えるように開発しました。

- **乾燥状態（乾いた後）でも効果・効能が持続します。**
- **5年以上の長期保存・在庫が可能です。**
- **手荒れの心配がありません。**
- **各種安全基準をクリアしているので、安心して使用出来ます。**
- **無色・透明なのでマスクや衣服・ソファなどに吹きかけても色もつくことはなく、あらゆる素材へ使用できます。**

安心 安全

株式会社安評センターでの各種試験結果を元に本製品は99.9%が水であり、“人が飲めるほどの安全基準をクリアしている”と認定されました。また、皮膚、眼の刺激性試験の基準もクリアしておりますのでお子様や病院・福祉施設などでもより、『安心』、『安全』にご使用いただけます。

- ①経口毒性試験 ②眼刺激性試験
- ③皮膚刺激性試験 ④皮膚感作性試験
- ⑤復帰突然変異試験

上記①～⑤試験において、問題無し、異常なしとの実証評価を行っております。

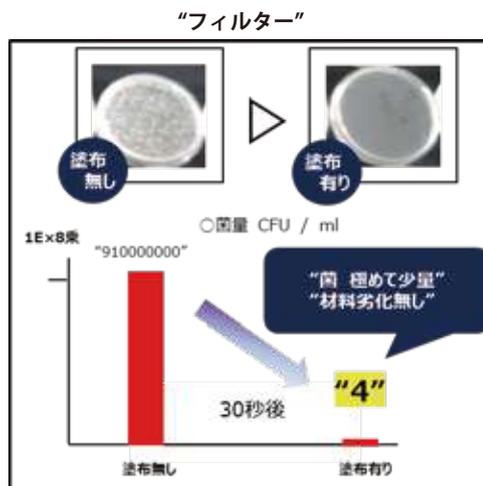
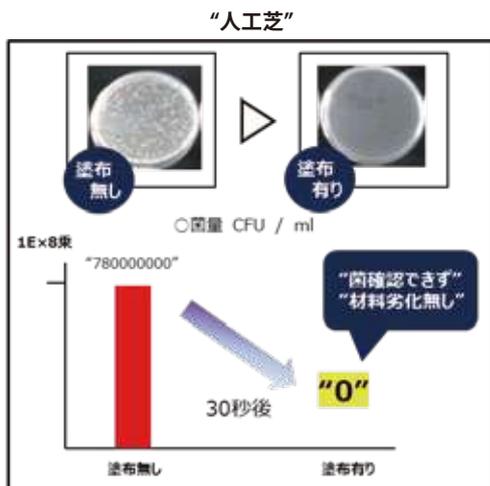
## 効果・効能の比較

	市販除菌消臭剤	アルコール消毒液	次亜塩素酸	Iodox®
殺菌(塗布時)	▲	○	—※1	—※1
除菌(塗布時)	○	○	○	○
抗菌(塗布時)	○	○	○	○
消臭(塗布時)	○	○	○	○
ウイルス対策(塗布時)	×	○	○	○
カビ対策(塗布時)	×	▲	▲	○
長期保存(保管期間)	○	▲	×	○
持続性(乾燥後)	×	×	×	◎

(※1) 医薬部外品でなく雑品の為対象外

# Iodox® 性能試験

\* 数種類の資材に菌液含ませ培養したのち、Iodox(x25)を塗布した場合の抗菌効果を試験した結果、下記写真のとおり、30秒後に菌量が低減する効果が確認できました。



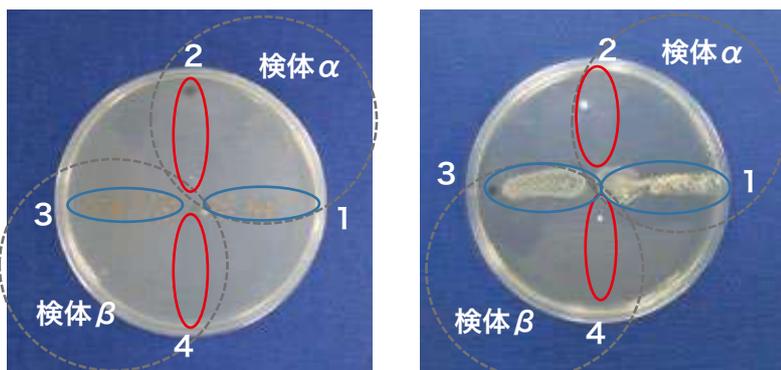
注1) 菌量の参考値：一般家庭台所で 1E×2乗から3乗の菌量となります。

注2) 抗菌試験はJIS L1902準拠

\* 手のひらに試験液を1mL滴下し、綿棒で5回、試験液ごと手のひらをこすって手指菌を採取した手指菌を寒天培地に塗り、35℃で3日間培養。

検体α・検体βともに、手指常在菌の精製水のみ“有”の場合とIodox使用時の菌量の差が顕著である。

(参考データー)



No.	sample	
1	検体α	精製水
2		Iodox600ppm
3	検体β	精製水
4		Iodox600ppm

\* 菌Aを20時間培養後の試験片とフィルムを滅菌生理食塩水10mlで洗い出し、その洗液を分取し寒天培地で35℃15時間培養後、菌数を測定

次亜塩素酸水300ppmとIodox600ppmのWet試験では菌Aの不活性化性能は同等です。

(Iodoxは300ppmでも同等性能の結果となります)

Dry試験では4、6の検証値で不活性化持続性能に差が出ております。

No.	sample	菌量(CFU/mL)
1	Wet STD	10 <sup>3</sup>
2	Dry STD	10 <sup>2</sup>
3	Wet Iodox 600ppm	0
4	Dry Iodox 600ppm	1
5	Wet 次亜塩素水 300ppm	2
6	Dry 次亜塩素水 300ppm	10 <sup>4</sup>

\*ウイルスへの不活性化

No	ウイルス種類	Iodox濃度	不活性化、確認経過時間	結果(不活性化検証)
A.	RNAウイルス(エンベロープ有)	0.3%	20秒で99.7%、1分で99.9%不活性化	○
B.	DNAウイルス(エンベロープ有)	0.3%	1分で99.9%不活性化	○

販売責任元



株式会社 **ワカサ**

Technology & idea



お問い合わせ

有限会社

若狭自動車サービスセンター 環境事業部

<https://www.wakasa-car.jp/>

